

[1] (1) さいころを 3 回投げる.

1 の目が 2 回, 偶数の目が 1 回出る確率を求めよ.

(2) さいころを 5 回投げる.

1 の目が 2 回, 3 の目が 2 回, 偶数の目が 1 回出る確率を求めよ.



ただよび

必須事項まとめ48

IA-40

(反復試行の確率)

[2] 金貨と銀貨が1枚ずつある. これらを同時に1回投げる試行を行ったとき, 金貨が裏ならば0点, 金貨が表で銀貨が裏ならば1点, 金貨が表で銀貨も表ならば2点が与えられるとする. この試行を5回繰り返した後に得られる得点が偶数となる確率を求めよ.

(慶應大・経済/抜粋)



ただよび

必須事項まとめ48

IA-40

(反復試行の確率)